

製品名: リン酸化 E カドヘリン (Ser838/Ser840) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02845

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 97 kDa; Observed MW: 135 kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH1
別名	CDH1; CDHE; UVO; Cadherin-1; CAM 120/80; Epithelial cadherin; E-cadherin; Uvomorulin; CD antigen CD324
遺伝子 ID	999
SwissProt ID	P12830
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

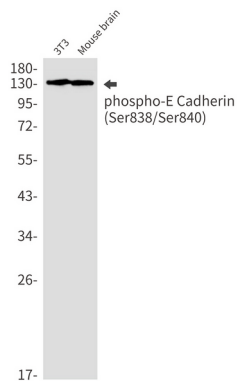
背景

CDH1 はI型膜貫通タンパク質であり、カルシウム依存性細胞接着タンパク質である。インテグリン α -E/ β -7 のリガンドであり、腸管上皮細胞の細胞間接触部位において DLG7 と共局在する。

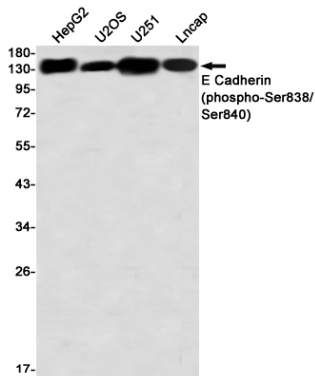
研究分野

シグナル伝達

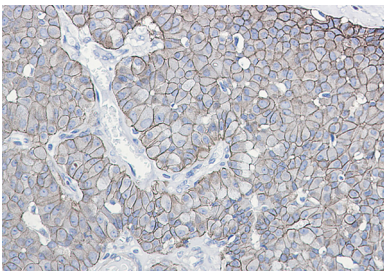
画像データ



リン酸化 E カドヘリン (Ser838/Ser840) 抗体を使用した 3T3 マウス脳溶解物中のリン酸化 E カドヘリン (Ser838/Ser840) のウエスタンブロット分析。



E カドヘリン (リン酸化 Ser838/Ser840) 抗体を使用した、HepG2、U2OS、U251、Lncap 溶解物中の E カドヘリン (リン酸化 Ser838/Ser840) のウエスタンブロット分析。



E カドヘリン (リン酸化 Ser838/Ser840) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。